

3月11日「令和6年度公開まちづくりセミナー」

事業委員会 委員長 浦山 豊隆

3月11日(月)に「令和6年度公開まちづくりセミナー」を開催しました。会場は広島YMCA国際文化ホール、約120名と多数のご来場をいただきました。講師には、(株)日建設計チーフ・デザイン・オフィサーの、山梨知彦先生をお迎えしました。先生におかれましては、日本建築士会連合会 建築作品賞選考の審査員をつとめていたいております。

広島市の市街地におきましては、広島県庁舎をはじめ、広島商工会議所ビル、グリーンアリーナ、リーガロイヤルホテル広島、ひろしま美術館、県立美術館、頼山陽史跡資料館、シャレオ地下街、近年では広島銀行本店ビル、明治安田広島ビルなど、日建設計様が設計された作品が多数あり、広島県の都心の景色を形づくっています。

日建設計の前身となる、「住友本店臨時建築部」誕生のきっかけとなりましたのは、1895年に行われました、住友財閥の重役会、「住友銀行の創設」と「住友本店の新築」についての決議が、住友の広島の尾道支店で決議されたことに端を発します。ことしはそれからちょうど、130年目の節目にあたります。

「切って つないで 建築をつくる」と題して、ご講演いただきました。

□組織事務所がどうやって設計しているか

日建設計では約3000人の社員がいる、1000人くらいが建築家で、一つのプロジェクトを小さいチームで5〜6人程度、大きなチームは30人程度。プロジェクトの規模や難易度により、フレキシブルにチームを編成している。

□内外の世界を切る／つなぐ

建築とは、世界を内外に切り分けること。日本では象徴的なエレメントは緑側になる。緑側は内と外を切っているが、同時につないでる空間ともいえる。玄関もそうである。

日本の気候風土が夏も冬も比較的にマイルドだから、内外をつなぐことができる。

環境の影響、気候風土によって敏感に建築ができていいるのではないかと考えている。

□911

摩天楼が生まれたのはシカゴ。ガラス一枚で内外が接している。環境を全く切ってしまうと、中は人工環境でつくってしまおう、人工照明がついて、ガラスで高層ビルの場合、8mm〜15mmで仕切られている。わずかの物理空間でしか離れていないけれども摩天楼というのはおそろしく、内外が仕切られている。環境が切れている。バルコニーがあれば911で何人かが救出できただろう

クライアントには別の理由をつけて究極的には、内外がつながるような安全なビルを設計したい。バルコニーを提案するようにしている

□木材会館

完成した木材会館はデジタルデザインとは関係ないような、木をつかったオフィスなんですけれども、テクスチャを見たイメージは、貯木場や材木屋に行ったところ、材木が置かれているだけで、美しかったので、ビューな美しさをデザインに反映したいと思った。

外装として木を使うということですけどもバルコニーの手摺、バルコニーを構成するのは、延焼ラインにかかっていなければ、全く問題がないことがわかった。内装には一部、不燃処理をしてない木材を用いている。

天井高さを高くとれば、木材が燃えた場合に、人間が避難するときに煙が顔の高さまで下りてくる前に避難できれば木材として使える。

1階は天井高さが高いため、



クリアできる。日本の場合、天井の中に梁のふところがある。実際の空間の4分の1のボリュームを占めている。そこの天井をはがして、煙をためてしまえば何のことはない、木が使えることがわかった。

木材を構造材としてどこで使うか。考えたのはオフィスビルの最上階の構造も下の階と同じようにコンクリートもしくは鉄骨でできている。建て方は1.5ヶ月かかっている。最上階の構造は、自分で自分の荷重を支えている。最上階を木造にすれば、工期が早くなるだろう、木造の建て方は3日くらいでできる。

いま、木造や木質建築が話題になっているが、内装制限があって高い材料を使うのではなくて、安い材料を使いつつ法律的なところをきちんと整理することで内装に使うことができる。

ユニバーサルスペースと言いながら、ビルの外形は四角いの、コアを設けると、ワークスペースはL型になってしまい、その中に柱型が出てきて使いづらい。ほとんどのオフィスビルはそうになってしまっている。それは本物のユニバーサルデザインではない。

私が考えるのは、敷地の中に最大になるように、柱型が出てこない整形のワークスペースをとり、敷地の状況に合わせて、ワークスペースの外部に、柱などの構造体やエレベーターなどの共用部を設けた方がよい。

テナント区画割によって、廊下を最小限に設定し、のこりはバルコニーにってしまうなど、床面積の有効率についてもデザインするようにしている。

□NBF大崎ビル

バルコニーの手すりを使って、環境建築をつくる提案をした。ヒントになったのは打ち水。水が蒸発する、気化潜熱をつかって、環境を冷やす。さらに、素焼きでできた水がめは表面ににじり出た水が、水がめの中の水を約10℃冷やす。素焼きのパイプを手すりに設けて、周囲を2℃程度冷やすことができた。

□ホキ美術館

レイアウトフリーにするために、建築でつくとジョイントが出てしまう。船の鉄板のように、全部溶接してしまえば、継ぎ目が出てくることはない。せっかく鉄板でつくるなら、絵画をマグネットで取り付けると、レイアウトフリーにできる。

象徴的なこの鉄板のキャンチレバーの構造は合理的だと思っている。長さ100mの円弧を2つ並べて組み合わせると2点で交わる。両端から25m真ん中ちょうど50m柱に水平の力がかからないし、曲げモーメントがかからない。

2点で支持することは構造上合理的である。

□桐朋学園調布キャンパス1号館

2階のRCの音楽室の壁と地下1階のRCのホールの壁の交点を1階部分となる、250□の鉄骨柱でつなぎ合わせた。

2階と地下1階とをコンピューターを使って、重ね合わせてみると、昔の集落のようなナチュラルさが見えた。

コンピューターをうまく使えば、新しいナチュラルを得ることができる。

□長崎市庁舎

吹き抜けの内装と最上階の構造体を木造にした。

□on the water

湖全体を敷地として、その地形の景色を住宅に取り込もうとした。

□脱炭素を目指した外皮 鍋状の金属をワイヤーで引っ張り、外皮に利用した。

□大阪万博 日本館 木材の再利用をデザインする。

□大阪万博 住友館 木材の薄さをデザインする。

切ってつないで建築をつくる。ひとつながりの世界から、ある領域、空間を分節することである。

山梨知彦先生、このたびは、ご多忙のなか、また、闘病なさっているなか、こころよく、講師を引き受けてくださり、貴重なお話をうかがうことができました。事業委員会メンバー一同、感謝しております。どうもありがとうございます。



MONTHLY 建築士
No.204

HIROSHIMA

MONTHLY 建築士 HIROSHIMA No.204 令和7年8月1日発行

発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号
TEL(082)244-6830(代) FAX(082)244-3840 URL http://www.k-hiroshima.or.jp/
e-mail : info@k-hiroshima.or.jp

発行人 会長 佐名田 敬荘
編集人 広報委員長 梶川 彰彦

表紙写真について

福山市深津交流館

- 設 計 監 理／設計：原設計(株)
監理：福山市建設局建築部営繕課
- 施 工／大和建設株式会社
- 所 在 地／福山市東深津町
- 用 途／交流館
- 構造・規模／木造平屋建
- 延 床 面 積／579.90㎡
- 竣 工 日 2025年6月

本施設は、地域の交流や地域活動の拠点として計画された建物です。計画地は、古い町並みと新しい建物が混在する、のどかな住宅地に位置しています。そのような周辺環境に配慮し、片流れ屋根を組み合わせて軒を連ねるような外観とし、地域の景観に調和しながら圧迫感を与えない建築としました。建物のエントランスを入ると正面に中庭を設けており、廊下を回廊のように中庭を囲む形で配置することで、自然光が建物内へと差し込むよう計画しています。また、中庭には大会議室および廊下から直接出入りできるようにし、イベント等においても多目的に活用できるよう配慮しています。



CONTENTS

表紙写真について	2	広島支部女性部会見学会	7
会長挨拶	3	中四国ブロック岡山	8
委員会活動報告	4	賛助会員紹介	9
総会報告	6	事業委員会	10
CPD 認定プログラム	6		

ごあいさつ



会員の皆さまには、平素から（公社）広島県建築士会の活動に対し、積極的なご参加、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年の総会・理事会において会長にご推挙いただき一年が過ぎましたので、この一年を振り返りたいと思います。

昨年3月に設置した「災害対策委員会」に関連して、昨年6月に避難所間仕切りシステム等の設置に係る「広島市、坂茂事務所、広島士会」の3者協定を締結するとともに、災害対策委員会において、防災教室への参加や、地元の社会福祉協議会での避難所間仕切りの設置のプレゼンなど、活発な活動を開始したところです。

本年4月に建築基準法と建築物省エネ法が大幅に改正されましたが、本士会としては、広島県が設置している「建築士サポートセンター」の事務局を、事務所協会と協力し合って担っています。今年9月頃まで継続されますので、引き続き取り組んで参ります。

また、昨年の総会以降9月までに、私自身、県内7支部にお邪魔して、支部活動の状況等について色々ご意見を伺いました。

各支部においては、会員数をはじめ取り巻く状況が異なっており、支部の実情に応じて、より活発な活動が展開できるような仕組みづくりが必要だと感じたところです。

これを受け、支部からの理事定数については、柔軟に対応ができるよう規約の改正を行い、また、遠方の支部においては、理事会についてもWebでの参加ができるよう、試行的に対応を始めたところです。

まだまだ、不備な点多々ありますが、順次対応していきたいと考えています。

一方、対外的な活動としては、昨年、広島県が中四国ブロックの幹事県ということで、ブロック会の会長を1年させて頂き、中四国9県の会長達との連携を図ることができました。

その一つとして、中四国ブロック会において「被災歴史的建造物の調査活動の相互応援に関する協定」を締結し、隣県相互の調査支援を行うことになりました。広島県は山口県と岡山県への調査応援を行うことになりますので、発災時には、皆さま方のご協力をよろしくお願い致します。

また、ブロック会の幹事県ということで、昨年から建築士

（公社）広島県建築士会 会長
佐名田 敬荘

会連合会の副会長を1期2年間、務めることになりました。

連合会の理事会前に行われる正副会長会議への参加や、連合会に設置されている「まちづくり委員会」と「CPD・専攻建築士制度委員会」の担当副会長をさせて頂いており、連合会では毎月のように会議参加しています。

まちづくり委員会の主な行事として「全国まちづくり会議」があり、昨年度は島根県松江市において「白濁地区のまちづくり」と題して空家の利活用を学びました。今年度は、宮城県の女川町で「復興まちづくり」をテーマに開催される予定です。

CPD・専攻建築士制度委員会においては、昨年から日本建築家協会と「建築士資格の国際化への対応」をテーマに協議を進めています。

ご承知の方も多いかと思いますが、日本の建築士資格は、世界基準であるUNESCO-UIA 建築教育憲章で認証されていないため、世界で通用しないということがあります。このため、どのような資格制度が相応しいのか検討を進めているところで、来年度には一定の方向性が出されるのではと考えています。

こうした連合会の情報については、各委員会等を通じて、皆さま方と意思疎通を図っていきたいと考えています。

連合会での会議・委員会においては、色々な課題に対してどう対応するか議論されますが、地元広島士会での取り組みの紹介や発言にあたっては、これまでの士会活動の経験が重要だと強く感じています。

今後とも、私自身、広島士会の各委員会へ出来るだけ出席し、皆さまとの意思疎通を図り、連合会への意見具申も続けたいと考えています。

今後について、会員減少が続く中においては、県内7支部間の連携が重要であり、また各委員会についても、効率的な運営に当たっては委員会相互の連携も重要と考えています。支部長会議や委員長会議の開催に向け、準備を進めたいと思っております。

最後に、建築士会と取り巻く課題はいろいろありますが、その解決に向け、皆様方のご協力をお願い申し上げますと共に、今後ますます会員相互の親睦が深まり、さらに活発で楽しい士会活動となることを願っています。

会員の皆さまの活発なご意見とご参加をいただきますよう、よろしくお願い致します。

(公社) 広島県建築士会には11の委員会と会員増強推進チームがあります。

企画総務委員会……………委員長 濱井 義樹

広島県建築士会の会員数は、1980年のピーク時と比較すると45％弱にまで減少しています。

また現在の会員の平均年齢である約61歳よりも若い方が加入されない限り確実に高齢化は進行し、会員数は自然減のような形でさらに減少することとなります。

つまり会員数の減少対策というよりも、加入者数の増加対策こそが今の建築士会における最大の課題であるということは、昨年もこの欄でお知らせしたところです。

ただ本年度からは、すでに現実的なものとなっている会費収入等の減少に対応すべく、やむを得ず各支部の活動助成金の削減を行うことになりました。

会員数の減少はこうした資金面だけでなく、直接的に支部役員の方々の負荷の増大にもつながります。

この状況は、各都道府県の建築士会だけでなく連合会自体においてもまったく同様であり、早々に持続可能な組織のありかたをきちんと見据える必要があるのですが、これはこれで非常に難しい問題です。

企画総務委員会では当面、会員数の確保と収益につながる事業の検討と実施、支出項目の全体的な見直しなどを進めていきますが、具体的な対応策となると、いずれも相当に困難なものであらうと考えています。

本年度の総会では、こうした現状に基づく会計報告のほか、各支部の声をより活かすことができるような役員制度の見直し等についてもご承認いただきました。

本会の運営には、会員の皆様方のご理解とご協力が欠かせません。また会員増強についてはさらに多くの方々のご協力が必要です。どうか、本会への加入のお声がけのほか、講習会や各種事業への積極的なご参加をお願いいたします。

交流厚生委員会……………委員長 井手口 耕三

交流厚生委員会では、会員の親睦交流事業において活気あふれる活動を毎年行っております。今年度の行事としましては、第42回支部対抗ゴルフ大会を呉地区支部が幹事で11月8日(土)に郷原カントリークラブで開催する予定です。

また、第50回ボウリング大会においては三原支部が幹事で令和8年2月7日に開催する予定です。

詳しい行事の内容については、マンスリーを通じて報告を行っていきますので多数の方のご参加をお待ちしております。

災害対策委員会……………委員長 宮迫 勇次

昨年に発足し、VAN(ボランティア・アーキテクト・ネットワーク／坂茂代表)と広島市、広島県建築士会の3者協定に基づいて、広島市内ほか廿日市市等で紙管間仕切りの展示・講義・組立体験を実施中です。実際に避難所となる体育館において、割付計画実習、また東日本大震災や西日本豪雨時の現場体験報告を交えた防災訓練等を支援しました。発災時の被災建物の危険度判定員・建築相談員の派遣に加えて、避難所の快適化を推進します。

一方、土木系の技術士、法律系の弁護士や行政書士、また福祉系、医療系など15分野の専門家団体で構成される「広島県災害復興支援士業連絡会」に参加し、災害発生時は専門的な支援活動をするとともに、平時には予防啓発活動を通してワンストップ型の防災まちづくりを建築技術面から支えます。



CPD・専攻建築士委員会……………委員長 橋本 明美

委員会ではCPDプログラム申請及び専攻建築士登録申請の事前

審査をおこなっています。近年ではCPDプログラムの講習会がオンラインや対面とオンラインのハイブリッドでの開催が増加傾向にあります。

また、建築士会のCPDプログラムに認定されていない講習会等(建築士会以外の各種団体や民間の企業等の講習)を受講した場合は、個人申請によりCPD単位の認定を受けることができます。また専攻建築士の更新登録時期を逃した場合は、再登録手続きが可能となりました。専攻建築士制度については建築士会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

試験業務委員会……………委員長 相原 直樹

試験業務委員会では、これまで一級・二級・木造建築士試験の試験監理を行っており、年間スケジュールとしては、7月第1週目の日曜日に二級建築士、7月第4週目の日曜日に一級・木造建築士の学科試験、9月第2週目の日曜日に二級建築士、10月第2週目の日曜日に一級・木造建築士の設計製図の試験監理を実施しています。

現在、当委員会は、各試験を実施するにあたり、一級建築士資格を持つ建築士会会員の協力を得て、日曜日の早朝から夕方までの長時間にわたる業務であるにも関わらず、毎年延べ約110名の方々にご参加をいただき、試験会場での受験者の整理、試験前の配布資料等の準備、試験中の監理を行い、受験者に対し公平公正な試験運営を行っており、これまで大きな問題もなく実施できております。

これまで試験業務にご参加いただいている方々におかれましては、引き続き当委員会の運営にご協力くださいますよう、また、新たに建築士試験に合格された方は、建築士会に入会していただき当委員会にご参加していただきますようお願いいたします。

事業委員会……………委員長 浦山 豊隆

事業委員会では主に、広島県建築士会主催で行う年1回の事業として、「公開まちづくりセミナー」と題した講演会の開催について、企画し、運営を行っております。これまで、「公開まちづくりセミナー」では広島に関連した話題とともに、建築家などの専門家を講師にお迎えし、ご講演をお願いしております。昨年度は、日建設計CDO(チーフデザインオフィサー)の山梨知彦氏を講師にお迎えし、3月11日広島YMCA国際文化ホールにて『-切ってつないで建築をつくる-』というタイトルで講演会を行いました。

その他の活動としては、公開まちづくりセミナーの開催にあわせて、2月17日、日建設計東京事務所 設計の明治安田広島ビル完成後見学会を行いました。また、3月8日には、事業委員会ほか有志にて、日建設計前身の「住友本店臨時建築部」創設にゆかりのある地にて、尾道散策(旧住友施設跡めぐり)を行いました。

今年度の「公開まちづくりセミナー」につきましては、2月頃に開催できるよう、企画、準備を進めていきます。ぜひ、ご参加いただきますようお願いいたします。

まちづくり委員会……………委員長 福馬 晶子

建築士は、建築物を建てることになにかしら関わっているのですが、建築物で構成されている「まち」をつくっていると言っても過言ではありません。そのため、まちづくり委員会にはカテゴリを分けて、防災、歴史、景観、福祉、街中(空き家)、木のまちづくりの6つの部会があり、全国のまちづくり委員会と繋がって活動しています。(防災は別委員会が令和6年度から立ち上がっています)しかし、現状のまちづくり委員会は、各支部から代表が1人ずつ集まって7名で情報収集したり意見をまとめた構成になっていますが、あまり機能していません。そのため、令和6年度から委員長をさせていただいているのですが、まちづくり委員会がどうあるべきか、色々悩みました。

青年委員会や女性委員会のように事業を構えるのもひとつかなと考え、令和6年度には、白市の町並み見学会・講演会や宮島の古

8月号では各委員会の令和6年度の活動報告・令和7年度の活動予定をお知らせします。

民家見学会・講演会も行いました。また、中四国ブロック会議が広島県で開催するのに合わせて、エキキタのエリアマネジメントの講演・見学、広島駅の見学も行いました。

令和7年度は、令和6年度に引き続き、広島県各地のまちづくりの現場の見学などを行うと共に、広島県地域貢献活動助成で広島県建築士会から助成金を出してきていた活動をまとめ、現地見学するなどにより、広島県建築士会のまちづくりの検証もしていきたいと思います。

今後もまちづくりについて考えていきたいと思うので、皆さま、情報をお寄せください！また、イベントには顔を出してください！



青年委員会……………委員長 櫻庭 誠

青年委員会では、2ヶ月に1回の各支部持ち回りで青年委員会を開催しております。

その他にも、県内の各支部青年間の交流、中四国ブロックの青年委員会の方との親睦も深めております。

昨年度の事業

6/8、9 令和6年度青年・女性建築士の集い中四国ブロック広島大会へ46名参加

9/21、22 令和6年度若手建築志(士)交流会in愛媛へ9名参加

2/21、22 土佐材建築視察の旅(高知県)へ13名参加

昨年度は、令和6年度青年・女性建築士の集い中四国ブロック広島大会が9年ぶりに広島で開催されました。中四国の多くの方に参加頂き、大変好評でした。また、土佐材建築の視察ということで、青年委員会のイベントに初参加の方を加え、高知県の木造建築を高知県建築士会青年委員会の方に案内していただきました。

本年度は、会員の増強・親睦を中心に各支部での定例会と併せて、見学会・ワークショップを計画しております。詳細は随時ご案内しますので、ぜひご参加ください！



住宅委員会……………委員長 佐々岡 由訓

住宅委員会では、住宅に関する事業として、住宅講演会、見学会の開催、イベントへの参加、勉強会などをしています。委員のメンバーは県内各支部から集まった14人で活動しています。

昨年度は、住宅委員でもある向山徹氏が「岩国のアトリエ」にて建築学会作品賞を受賞されたことを記念して「木と土の建築」と題して講演会を開催し、130名のご参加をいただきました。今年度も鋭意企画中で、講師に能作文徳氏を迎え11月29日(土)にYMCA国際文化センターにて「和の住まい推進りレーシンポジウム」として開催しますので、ぜひご参加ください。

委員も随時募集中です。無理のない範囲で参加していただけますので、住宅委員会に興味のある方はご連絡ください。



女性委員会……………委員長 小玉 志帆

建築に携わる私たち女性が、専門性を磨きながら世代を超えてつながり合い、日々の業務や暮らしに“ひらめき”と“実用”をもたらす場——それが、女性委員会です。

委員会では、見学会や防災ワークショップ、ドローン体験など、実務に直結するテーマを楽しみながら学べる企画を多数実施してい

ます。また、全国女性建築士連絡協議会への参加を通じて、全国の仲間との交流や情報共有にも積極的に取り組んでいます。

令和7年度からは「建設産業女性定着支援事業」にも新たに参画し、働きやすさやキャリア形成に関する学びをスタート。より多角的な視点から、建設業界の未来と向き合う体制が整ってきました。

経験や年齢に関係なく、誰もが自然体で参加できる温かな雰囲気こそが、私たちの魅力です。

11月には「たてものがたり」と連携し、子どもたちが建築の魅力を楽しく体験できるキッズ向け企画も予定しています。世代を超えた学びと出会いの場として、ぜひご家族でもご参加ください。

少しでもご興味を持っていただけた方は、ぜひ一度、覗いてみてください。



ヘリテージ委員会……………委員長 濱井 義樹

ヘリテージマネージャー(以下HM)養成講習会は本年で12回目を迎えることとなり、昨年度末までの登録者数は247名になりました。

さて、昨年の能登半島地震を教訓に、歴史的建造物の被災時における迅速な対応のため、現在、全国的な相互応援体制が整いつつありますが、本年、建築士会中国四国ブロック会においても「被災歴史的建造物被災調査活動に必要な相互応援に関する協定」を締結しました。

こうした中で必要となるのが、各地における「歴史的建造物等」のリストアップ作業です。

国や県の指定によるもののほか、各市町が指定する文化財等はもちろんのこと、無指定ながらも価値のあるものは数多く存在しているはずだ。

これらの建造物等を全国的に網羅する日本建築学会「歴史的建築総目録データベース」は、現段階において若干の不足感はあるものの、今後のリストアップ作業の中心となることは確実です。

HMの皆様方も是非、このデータベースをご利用になり、さらに充実させていただきたいと思います。

<https://globb.aij.or.jp/>

このアドレスで表示されるページにあるゲストアカウントでデータベースの閲覧は可能ですが、情報等を入力していただくためには利用申請が必要です。

利用申請をご希望の方は、ヘリテージ協議会の地域代表の方または士会事務局までご相談ください。

会員増強推進チーム……………リーダー 倉田 まゆみ

近年、会員数の減少に伴い平均年齢も上昇中で各委員会活動に対し非常に厳しい状況が続いております。そのような中、このたび総合資格から30名もの新規入会があり、非常にありがたい成果となりました。今後は青年女性委員会を中心に、若い力とともに企画や活動を展開していく予定です。また、賛助会員の入会も10社と大変多くのご協力を得ることができました。大変心強く思っております。せっかくのご縁を大切に、アンテナを広げて、お互いに情報を共有し合い、一人でも多くの入会促進に努めていきます。皆様周囲への声掛け協力よろしくお願い致します。

新たな役員改選のあり方に向けた定時総会！

2025 年 6 月 21 日(土)

6月21日（土）に広島県情報プラザにおいて定時総会が開催されました。コロナ禍の中、やむを得ず会員の皆さまには出席を控えていただいたうえで当会場研修室で開催した令和2・3年を別とすれば、8年ぶりの情報プラザでの開催となりました。

アフターコロナでは、従前利用していた会場の閉鎖により広島駅近くでの会場確保を模索しておりましたが、今回駅から遠くなったものの懇親会場を総会会場に近いところを確保し、会員の皆さまには例年以上の多数のご参加をいただくことができました。

定時総会では、次の議案についてご承認いただくことができました。

- ◆議案第1号 令和6年度収支決算の件
- ◆議案第2号 役員選任の件
- ◆議案第3号 定款改正の件

特に今年度は、議案第3号の副会長及び常務理事の定数の改正と併せ、会長選出のあり方などについて役員選挙細則の改正も報告させていただきました。今回の役員改選からこの新制度により実施することとしております。



CPD 認定プログラム（8～9月の広島県内実施分）

2025 年 7 月 4 日現在

日 時	プログラム名	単位	主 催	連絡先
8/23	令和7年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会（1）	6	広島県建築士会	082-244-6830
8/27	大規模修繕「修繕の心得」講習会（DVD講習）	3	広島県建築士会	082-244-6830
8/29	令和7年度 広島県木造建築セミナー（1）	5	広島県 林業課（NPO法人サウンドウッズ）	06-6360-4465
9/ 3	FUコンクリート講座講演会 よりよいコンクリートのために	4	広島県東部生コンクリート協同組合	084-973-2155
9/ 4	BIM講習会2025～BIM図面申請とは～	2	広島県建築士会	082-244-6830
9/ 5	DX研修	6	広島県建設工業協会	082-511-1430
9/ 5	「公共建築木造工事標準仕様書 令和7年版」「木造計画・設計基準及び参考資料 令和7年版」講習会	3	公共建築協会	03-3523-0382
9/ 6	建築施工図作成・管理支援技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9/ 6	令和7年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会（2）	6	広島県建築士会	082-244-6830
9/ 7	建築施工図作成・管理支援技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9/11	令和7年度 広島県木造建築セミナー（2）	5	広島県 林業課（NPO法人サウンドウッズ）	06-6360-4465
9/11	「電気設備の技術基準とその解釈」講習会 9/11	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9/12	電気技術者のための「電気関係法規」実務講習会	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9/13	令和7年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会（3）	6	広島県建築士会	082-244-6830
9/17	【第3回】労働安全衛生特別教育（低圧電気）講習会（広島会場）	8	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9/18	【実技コース】労働安全衛生特別教育（低圧電気）講習会（広島会場）9/18	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9/19	第一種電気工事士定期講習（広島市）9/19	6	電気工事技術講習センター	03-3435-0897
9/24	内線規程講習会（広島会場）	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9/25	電気設備保全管理講習会	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9/27	H1502 ドローンを活用した建物劣化診断技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9/27	H1301 隅木・振垂木の施工実践技術	6	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9/28	H1502 ドローンを活用した建物劣化診断技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9/28	H1301 隅木・振垂木の施工実践技術	6	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338

安全で安心な住まいづくりをサポートします。



- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット35 適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査

- ◆ 住宅かし担保責任保険
- ◆ 省エネ関連業務
- ◆ リフォーム評価ナビ
- ◆ ベターリビングリフォーム審査業務



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

URL: <http://www.hkjc.co.jp>

本社

〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10

TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231

営業所

〒720-0034 福山市若松町 8-22

TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

広島支部女性部会
歴清社工場見学会開催報告

広島支部 神岡 千春

6月6日（金）、広島支部女性部会では広島市西区三篠にある歴清社の工場見学会を開催しました。参加者は8名（内会員6名）でした。

歴清社の金属箔紙は壁紙メーカー：サンゲツのカatalogにも掲載されており、いつかは使ってみたい！と思う材料です。箔雑貨は広島ブランドの一つとして広島駅など多くの場所で目にするようになりました。

当日は、ショールームで、歴清社の広報の方から、創業から今日までの歴史、歴清社独自の真鍮箔、金属箔紙ができるまでの工程、海外需要が多数を占める事、そして現在のトレンドを伺いました。

歴清社の創業家・久永家は元々紀州浅野家のおかえり刀剣商で、17世紀の安芸国入封に合わせて広島に移り住んだとのこと。廃刀令などにより商いを屏風商に転換、金は変色しないー幸せな時間が永遠に続きますようにと、高価な金屏風が1家に1隻と求められた時代でもありました。材料の金箔は金沢で、加工は京都で行われていたのを、なんとか広島でできないかと考えたのが歴清社初代の久永清次郎。高価で時間もかかる本金屏風に代わる、安価な洋金箔（真鍮製の箔）を使った箔押し紙を開発しました。

現在もその当時の工法で創られているそうです。

工場は今も大半が木造で、被爆前からある倉庫・煙突、そして被爆を逃れた小学校の材料を転用し、そのまま使われています。箔を並べる作業ができるのは今も昔も女性だけだそうです。若い職人さんのしなやかな手さばきは優雅だけれど張り詰めた雰囲気が漂います。

原爆投下から今年で80年。歴清社は爆心地から約2.2kmにありました。今も使われているコンクリート造の倉庫と煙突は倒壊をのがれ、焼け野原となった街の目印となったそうです。それらは、外から見ることはできませんが社屋の正面に当時の灯籠の土台が残されています。

歴清社では、箔押し体験などのワークショップもされています。HP (<https://rekiseisha.com>) も是非チェックしてみてください。



「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに
より確かなサービスを提供します



- 指定確認検査機関
- 登録建築物エネルギー消費性能判定機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務

- 指定構造計算適合性判定機関
- 適合証明業務（フラット35）
- 調査診断業務（適法性調査、定期報告等）

- 登録住宅性能評価機関
- 長期使用構造等の確認業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）評価業務

12条点検は弊社におまかせください



株式会社 ジェイ・イー・サポート

URL <https://www.jesupport.jp/>

e-mail : mail@jesupport.jp

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F

TEL：082-836-3300 FAX：082-228-8201

東京支店：東京都千代田区神田富山町22-7F

福岡支店：福岡県福岡市中央区天神一丁目9-17-8F

指定確認検査機関（中国地方整備局長指定第1号） 登録住宅性能評価機関（中国地方整備局長登録第5号） 登録省エネ判定機関（中国地方整備局長登録第3号）

BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすばりカバーしています



ハウスプラス中国住宅保証株式会社

<https://www.jutakuhosho.com/>

広島支店・広島本店：広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル

TEL：082-545-5607 FAX：082-545-5608

三原支部 南 博之

分科会では「防災講習」と「講演会」から選択が可能で、私は建築クリエイター集団・NoMaDoS（ノマドス）さんによる講演を聴講しました。建築に限らず、さまざまな分野からのアプローチを試みる革新的なプロジェクトの数々に触れ、新しい視点をたくさん得ることができました。特に印象的だったのは、漫画やアニメと建築を結びつける取り組み。空想と現実を横断しながら空間の魅力を

あつという間の2日間でしたが、中四国の仲間たちとの再会、そして新たなつながり。岡山のまちと人、そして建築を通じて得られた発見と共感。このような「集い」は、建築士としての原点と未来を再確認する場であると強く感じました。来年の開催は香川大会ということで、讃岐うどんを楽しみにしつつ、さらに充実した学びと交流を期待して、また参加したいと思います。



会社名・代表者名 株式会社アマノ 天野 裕		所在地 本社 〒722-0051 広島県尾道市東尾道 4-1		TEL : 0848-20-2195 FAX : 0848-20-2143 Eメール : fujibayasi@amano-web.co.jp HP : https://amano-web.co.jp	
営業・取扱品目 杭工事、押出成形セメント板、ALC、サイディング、サンドイッチパネル、長尺金属パネル、屋根、デッキ・ルーバー、システム建築、介護用ユニットバス、洗面化粧台、システムキッチン、大断面集成材、天井材、プール、床工事、外壁改修、地下二重壁、昇降機、避難用階段、フェンス、グレーチング、コンクリート二次製品、雨水貯留、シェルター等				土木建材・基礎・ALC・住宅建材・環境の5つの専門領域から、お客様のご要望に即した最適な商品を提供しています。また、ガードレール・防音壁・フェンスなどの道路関係、パイル・杭の基礎工事、ALCなどの外壁工事、サイディング・屋根工事の住宅工事、マンションの住設工事等も手掛けています。	
会社名・代表者名 旭建産業(株) 森重 慎太郎		所在地 広島市西区己斐本町 3 丁目 14-15		TEL : 082-273-5966 FAX : 082-273-5799 Eメール : masuda@kyokuken.com HP : http://kyokuken.com/	
営業・取扱品目 ALC、押出成形版、PC、サッシ、硝子、太陽光発電、他				建材工事施工販売の会社です。今後ともよろしくお願いたします。	
会社名・代表者名 光和物産株式会社 広島支店 垣原 義尚		所在地 広島市西区大芝 2 丁目 10-23		TEL : 082-230-1855 FAX : 082-230-1866 Eメール : kakahara@kowabussan.co.jp HP : http://www.kowabussan.co.jp	
営業・取扱品目 基礎工事 ALC 工事 地盤調査 金属製建具工事 屋根工事 外装工事				この度、広島県建築士会賛助会に入会させて頂きました。広島支店の 90%は杭工事・地盤改良工事・地盤調査となります。何か協力できることがございましたら、気軽にご相談下さい。	
会社名・代表者名 三和シャッター工業(株) 中四国事業部長 谷 康二		所在地 広島市西区南観音 6 丁目 3-13		TEL : 082-297-3014 FAX : 082-292-0023 Eメール : fujisawaya@sip.sanwa-ss.co.jp HP : https://www.sanwa-ss.co.jp(担当者:藤澤 康雄)	
営業・取扱品目 重量シャッター・軽量シャッター・オーバースライダー・鋼製建具・軽量鋼製建具・ステンレス建具・間仕切(可動間仕切/移動間仕切/学校間仕切/トイレブース)・アルミ製建具・防水商品・ステンレス金物 etc				この度、広島県建築士会に入会させていただきました。三和シャッター工業(株)です。社内にありますシャッターはもちろんのこと、鋼製建具全般を取り扱っております!シャッターは三和、ドアも三和、間仕切も三和、なんでも三和!鋼製建具のことなら三和シャッター工業へ!	
会社名・代表者名 (株)ダイキアクシス 広島支店 藤原 潤		所在地 広島県広島市安佐南区川内 5-1-22		TEL : 082-870-0888 FAX : 082-870-0771 Eメール : fujiwara@daiki-axis.com HP : https://www.daiki-axis.com/	
営業・取扱品目 排水処理事業・住宅関連商材・公共施設商材・環境配慮商材の販売				この度賛助会員として、入会させていただきました。ダイキアクシスは、1958年に「タイルと衛生機器の店」として創業以来、半世紀に住環境の改善に取り組んできました。水回りの設備機器から、内外装材、空調まで住環境を快適にする幅広い商材から最適なシステムを提案しています。	
会社名・代表者名 中本造林 中本 雅生		所在地 広島県廿日市市栗栖 508		TEL : 0829(72)0222 FAX : 0829(72)1637 Eメール : masahiro.hara@nakamotozourin.co.jp HP : https://www.nakamotozourin.co.jp/	
営業・取扱品目 国産材無垢外装材(焼杉など)、内装材(羽目板など)、床材				廿日市市で造林業から建材製品製造まで、一貫生産しています。広島県産材や地域材に対してお困りごとがあれば是非ご相談ください。杉の板類生産国内 NO1 メーカーです。 担当 原 正宏 080-2917-0971	
会社名・代表者名 日鉄物産システム建築株式会社 中国支店 中国支店長 三島 一秋		所在地 〒730-0017 広島市中区鉄砲町 10-12 2F		TEL : 082-536-0600 FAX : 082-536-0602 Eメール : nakagawa-hdo@nst-sumisys.co.jp HP : http://www.nst-sumisys.co.jp/	
営業・取扱品目 システム建築の設計施工				設計から施工までの建築プロセスをすべて標準化したシステム建築。規格性を追求した「Tio」、規格性と自由性を併せ持つ「NEO」、柔軟性を持つ自由設計の「TREO」の3つのラインナップにより一般工法ではなしえない工期・コストの有利性を実現。倉庫・工場・店舗など幅広い建築用途に適用し、企業の事業課題解決に貢献します。	
会社名 Panasonic		代表者名 【A】広島支部・呉支部・広島東支部・県北支部 課長:小野 健太郎(おの けんたろう) 【B】尾道支部・福山支部・三原支部 新松 暁吾(しんまつ あかね)		TEL : 【A】090-9046-6701 【B】090-4699-4283 Eメール: 【A】ono.kentaro@jp.panasonic.com 【B】shimmatsu.akane@jp.panasonic.com HP:https://recruit.jp.panasonic.com/organization/housing_solutions/	
所在地 【A】広島支部・呉支部・広島東支部・県北支部 〒730-8577 広島県広島市中区中町 7-1、5 階 【B】尾道支部・福山支部・三原支部 〒721-0973 広島県福山市南蔵王町 3-10-8、2 階		営業・取扱品目 		住まいのことなら Panasonicへご相談下さい! 24時間受付の「住まいの相談センター」が、お客様の住まいの悩みを解決します。 Panasonicの商品で 家一軒が建ちます!	